

患話休題

かんわきゅうだい

52



院長 真崎 雅和



鼻血の話

鼻血は何らかの原因で鼻の粘膜や血管が傷ついた時に生じますが、子供と大人では、その原因に多少の違いがあります。

子供では、「鼻をこする」、「鼻の中に指を入れる」などの刺激が出血の原因になっていることが多いようです。なぜ、このように鼻を触ってしまうのでしょうか？

アレルギー性鼻炎等があると、鼻の痒みやムズムズ感のために無意識に鼻をこすってしまうことがあり、鼻水、鼻づまりの症状が軽い時には、鼻炎の存在に気付きにくい場合もあります。一度出血した部位にはかさぶたが付いてきますが、このかさぶたは鼻づまりの原因にもなるため、どうしても鼻が気になってしまい、つい鼻の中を触って出血を繰り返すことになります。

大人でも風邪や鼻炎で鼻をかむ回数が増えると出血の原因になりますが、最近では血液がサラサラになる薬、抗凝固薬、抗血小板薬を服用されている方の鼻出血が増えています。同じ程度の傷でも、服用していない方と比べて血が止まりにくくなっているため、止血するまでに時間がかかり、出血量も多くなりがちです。なかなか止血しなければ不安になります。医師の指示通り内服しているのに

あれば、内服をすぐに中断する必要はありません。

子供も大人も出血部位の多くは、左右の鼻の仕切りの前方で、指で触れるような鼻の入口から近い部分です。この部分ではもともと血管が多く、刺激も受けやすいため、鼻の中でも出血しやすい場所です。さらに鼻炎や乾燥が加わると、鼻の粘膜はより出血しやすい状態になります。

止血の基本は圧迫止血です。ティッシュペーパーなどを丸めて少しきつめに鼻に詰め、鼻の上の方ではなく、鼻の広がった部分（鼻翼）をギュッとつまんで圧迫してください。通常は5〜10分ほどで止血できますが、血液がサラサラになる薬を服用している場合は、もう少し時間がかかります。この間は上を向かずに、座った状態で少し前かがみの姿勢を取ってください。気分が悪くて座った姿勢が取れない場合は、横向きに寝て顔を少し下に向けてと良いでしょう。喉や口の中にとまった血液は、飲み込まずに軽く吐き出してください。

いったん止血したら、安静にして鼻をいじらないようにしましょう。刺激を加えると再び出血してしまう可能性があるからです。



診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービス 約30分前

ご利用ください。ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診